

# 第2次久米島町国土利用計画策定に向けた 町民アンケート結果

## (1) 調査結果の概要

### ① 調査目的

「国土利用計画」の改定にあたり、お住まいの地域や町全体のまちづくりをはじめ、土地利用の課題や方向性などについて、町民の皆様の本町の土地利用等に対するご意見をお伺いし、地域の実情に即した計画をつくりあげていくための基礎資料とします。

### ② 調査概要

対象者	・町民（約 3,690 件 ※全世帯） ・関係人口
調査方法	・区長による配布 ・郵送、Web での回収
実施期間	令和 3 年 1 月 5 日～令和 3 年 1 月 22 日
周知方法	・区長による調査票配布 ・町ホームページ ・広報くめじま ・公式 LINE
回答数	797 票（郵送：563 票、web：234 票）
回収率	21.6%（797 票/3,690 票）

### ③ 調査の留意点

- 回答数の上限を超える回答についても、全て集計しています。
- 複数回答可の設問の場合、構成比は回答数で算出しています。
- クロス集計等の調査結果において、集計数が極端に少ないものについては、参考値として取り扱うこととします。

## (2) 調査結果

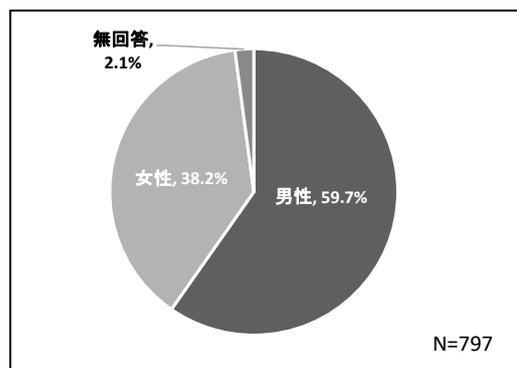
### ① 属性

問1 あなたの性別についてお答えください。(1つに○)

① 男性      ② 女性

#### ■単純集計

	回答数	構成比
男性	476	59.7%
女性	304	38.2%
無回答	17	2.1%
合計	797	100.0%

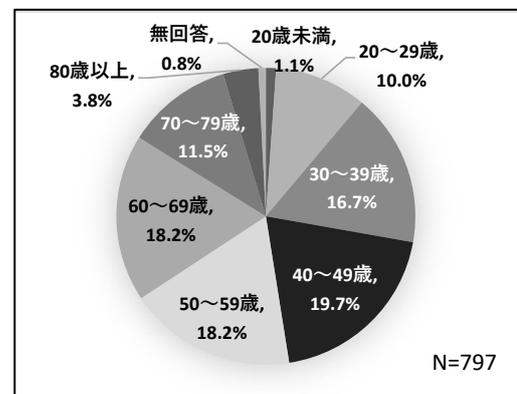


問2 あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

① 20歳未満    ② 20～29歳    ③ 30～39歳    ④ 40～49歳  
 ⑤ 50～59歳    ⑥ 60～69歳    ⑦ 70～79歳    ⑧ 80歳以上

#### ■単純集計

	回答数	構成比
20歳未満	9	1.1%
20～29歳	80	10.0%
30～39歳	133	16.7%
40～49歳	157	19.7%
50～59歳	145	18.2%
60～69歳	145	18.2%
70～79歳	92	11.5%
80歳以上	30	3.8%
無回答	6	0.8%
合計	797	100.0%



#### 【集計結果】

- ・ 40歳代（19.7%）が最も多く、次いで50歳代と60歳代が共に18.2%と同じ回答割合でした。また、20歳代からも10.0%回答があり、年齢の偏りは見られませんでした。
- ・ 20～59歳の合計のみで全体の64.6%を占め、働き手となる世代からの回答が多く見られました。

問3 お住まいの地区についてお答えください。(1つに○)

【町内(字)】

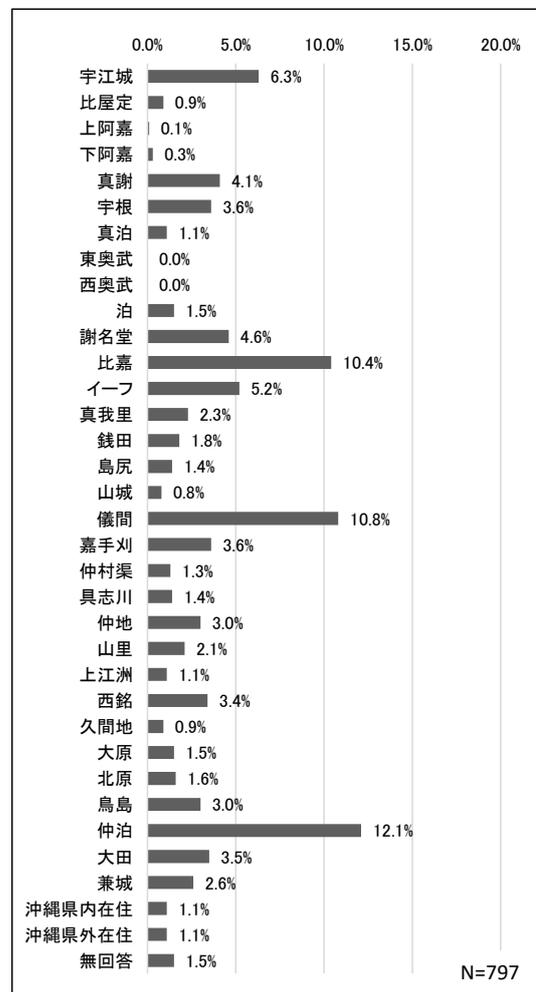
① 宇江城 ② 比屋定 ③ 上阿嘉 ④ 下阿嘉 ⑤ 真謝 ⑥ 宇根  
 ⑦ 真泊 ⑧ 東奥武 ⑨ 西奥武 ⑩ 泊 ⑪ 謝名堂 ⑫ 比嘉  
 ⑬ イーフ ⑭ 真我里 ⑮ 銭田 ⑯ 島尻 ⑰ 山城 ⑱ 儀間  
 ⑲ 嘉手刈 ⑳ 仲村渠 ㉑ 具志川 ㉒ 仲地 ㉓ 山里 ㉔ 上江洲  
 ㉕ 西銘 ㉖ 久間地 ㉗ 大原 ㉘ 北原 ㉙ 鳥島 ㉚ 仲泊  
 ㉛ 大田 ㉜ 兼城

【町外】

㉝ 沖縄県内在住 ㉞ 沖縄県外在住

■単純集計

	回答数	構成比
宇江城	50	6.3%
比屋定	7	0.9%
上阿嘉	1	0.1%
下阿嘉	2	0.3%
真謝	33	4.1%
宇根	29	3.6%
真泊	9	1.1%
東奥武	0	0.0%
西奥武	0	0.0%
泊	12	1.5%
謝名堂	37	4.6%
比嘉	83	10.4%
イーフ	41	5.2%
真我里	18	2.3%
銭田	14	1.8%
島尻	11	1.4%
山城	6	0.8%
儀間	86	10.8%
嘉手刈	29	3.6%
仲村渠	10	1.3%
具志川	11	1.4%
仲地	24	3.0%
山里	17	2.1%
上江洲	9	1.1%
西銘	27	3.4%
久間地	7	0.9%
大原	12	1.5%
北原	13	1.6%
鳥島	24	3.0%
仲泊	96	12.1%
大田	28	3.5%
兼城	21	2.6%
沖縄県内在住	9	1.1%
沖縄県外在住	9	1.1%
無回答	12	1.5%
合計	797	100.0%



【集計結果】

・大半が久米島町内の方からの回答でしたが、一部「沖縄県内」、「沖縄県外在住」の方からの回答(共に1.1%)も見られました。

## ② 居住経緯及び年数、交通手段

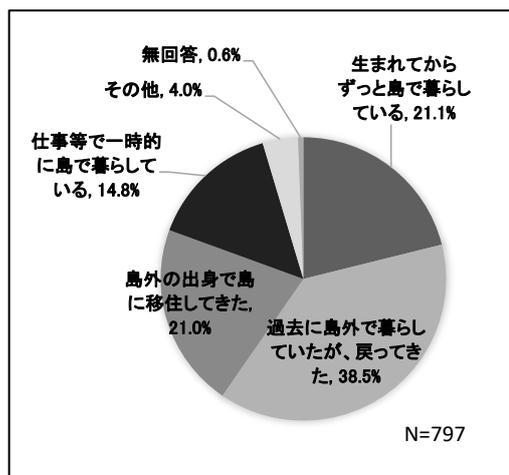
問4 島での居住経緯と居住年数についてお答えください。(1つに○)

(1) 島に住んでいる経緯についてお答えください。

- ① 生まれてからずっと島で暮らしている  
 ② 過去に島外で暮らしていたが、戻ってきた  
 ③ 島外の出身で島に移住してきた      ④ 仕事等で一時的に島で暮らしている  
 ⑤ その他 ( )

### ■単純集計

	回答数	構成比
生まれてからずっと島で暮らしている	168	21.1%
過去に島外で暮らしていたが、戻ってきた	307	38.5%
島外の出身で島に移住してきた	167	21.0%
仕事等で一時的に島で暮らしている	118	14.8%
その他	32	4.0%
無回答	5	0.6%
合計	797	100.0%



### 【集計結果】

- ・「過去に島外で暮らしてきたが戻ってきた」(38.5%) が最も多く、次いで「生まれてからずっと島で暮らしている」(21.1%) であり、久米島出身の方からの回答が全体の 59.6% を占めていましたが、「島外の出身で移住してきた」方からの回答も 21.0% と比較的多く見られました。

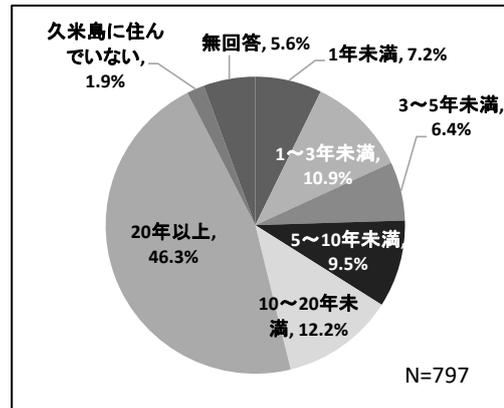
(2) 島に住んで何年になりますか？

※ (1) で②とお答えになった方は、島に戻ってきてからの年数をお答えください。

- ① 1年未満    ② 1～3年未満    ③ 3～5年未満    ④ 5～10年未満  
 ⑤ 10～20年未満    ⑥ 20年以上    ⑦ 久米島町に住んでいない

■単純集計

	回答数	構成比
1年未満	57	7.2%
1～3年未満	87	10.9%
3～5年未満	51	6.4%
5～10年未満	76	9.5%
10～20年未満	97	12.2%
20年以上	369	46.3%
久米島に住んでいない	15	1.9%
無回答	45	5.6%
合計	797	100.0%



【集計結果】

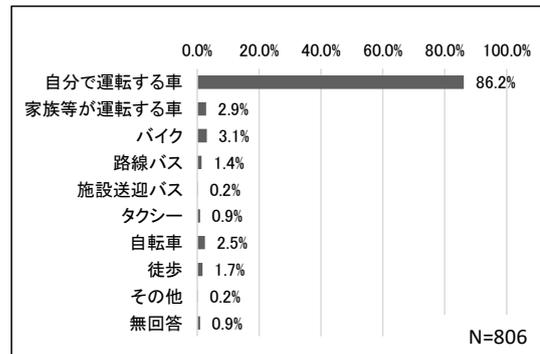
・「20年以上」(46.3%) が最も多く、次いで「10～20年未満」(12.2%)、「1～3年未満」(10.9%) という結果でした。

問5 あなたの主な交通手段は、次のうちどれですか。(1つに○)

- ① 自分で運転する車    ② 家族等が運転する車    ③ バイク    ④ 路線バス  
 ⑤ 施設送迎バス    ⑥ タクシー    ⑦ 自転車    ⑧ 徒歩  
 ⑨ その他 ( )

■単純集計

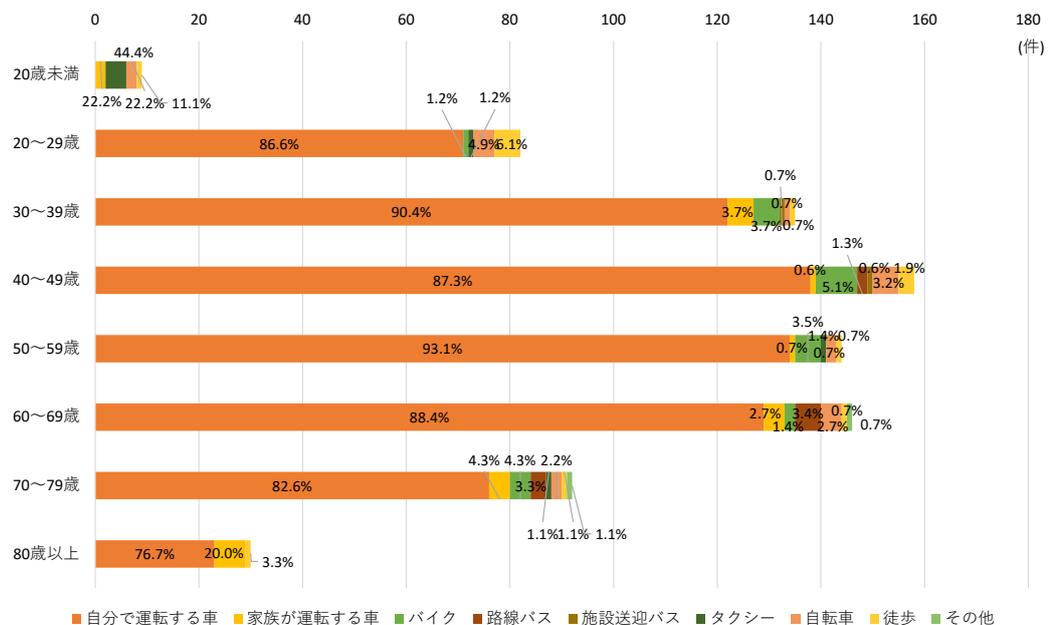
	回答数	構成比
自分で運転する車	695	86.2%
家族等が運転する車	23	2.9%
バイク	25	3.1%
路線バス	11	1.4%
施設送迎バス	2	0.2%
タクシー	7	0.9%
自転車	20	2.5%
徒歩	14	1.7%
その他	2	0.2%
無回答	7	0.9%
合計	806	100.0%



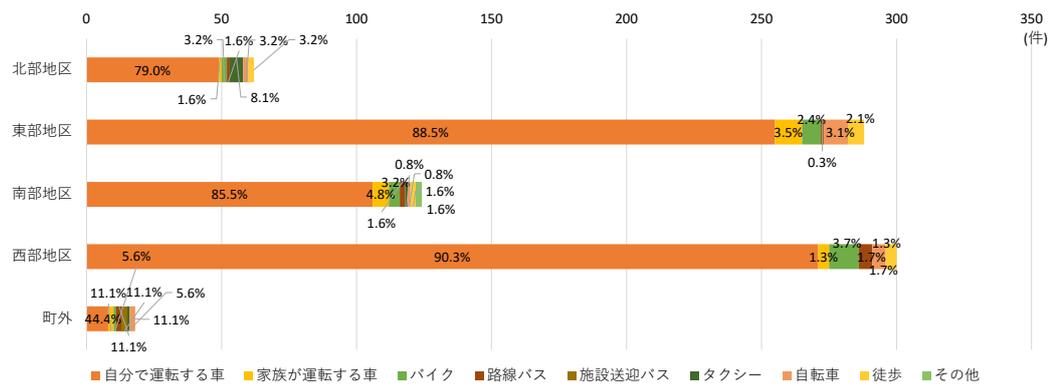
【集計結果】

・自家用車の利用が殆どを占めており、公共交通の利用割合に関しては、自転車(2.5%)よりも低く「路線バス」(1.4%)、「施設送迎バス」(0.2%)という結果でした。

■年齢別に見た交通手段



## ■地域別に見た交通手段



### 【集計結果】

- ・ 主な交通手段を年齢別で見ると、80歳代でも自家用車の利用率が76.7%と非常に高い結果でした。
- ・ 路線バスの利用に関しては、最も高い世代が60歳代以上の3.4%、次いで70歳代の3.3%であり、80歳代以上の路線バス利用率は0%でした。
- ・ また、地域別で見ても交通手段の傾向は変わらず自家用車が全体の8~9割を占めていました。最も路線バスの利用率が高い地域は西部地区であり、1.7%でした。
- ・ タクシーに関しては北部地区が8.1%と最も高い結果でしたが、母数が少ないことから参考値として取り扱うものとします。

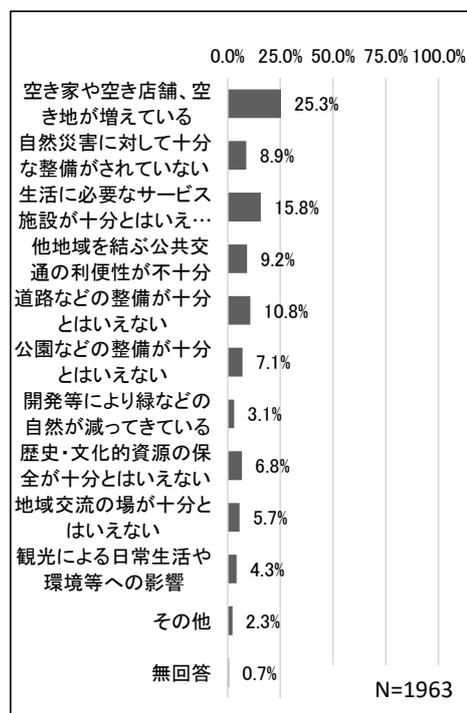
### ③ 居住している地域の土地利用

問6 お住まいの地域の土地利用について、特に課題や問題と思うものを選んでください。(3つまで選んで番号に○)

- ① 空き家や空き店舗、空き地が増えている
- ② 自然災害（台風や津波、土砂災害など）に対して十分な整備がされていない
- ③ 生活に必要なサービス施設（商業施設、医療機関など）が十分とはいえない
- ④ 他地域を結ぶ公共交通（バス等）の利便性が十分とはいえない
- ⑤ 道路などの整備が十分とはいえない
- ⑥ 公園などの整備が十分とはいえない
- ⑦ 開発等により緑などの自然が減ってきている
- ⑧ 赤瓦屋根の民家や御嶽などの歴史・文化的資源の保全が十分とはいえない
- ⑨ 地域交流の場が十分とはいえない
- ⑩ 観光による日常生活や環境等への影響（ごみの増加など）が生じている
- ⑪ その他（ ）

#### ■単純集計

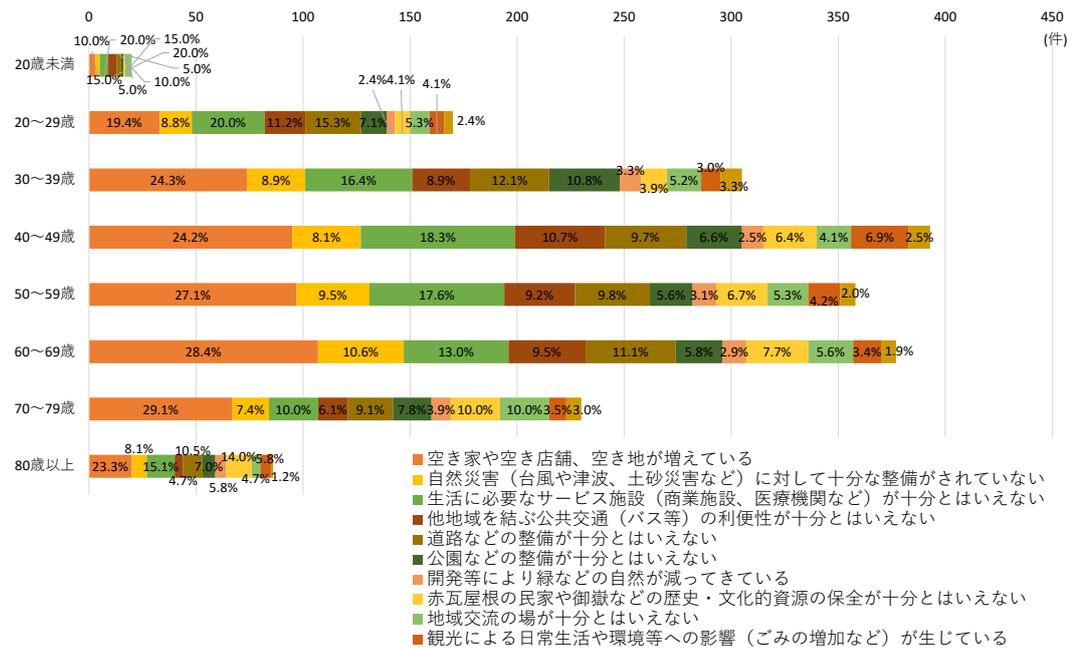
	回答数	構成比
空き家や空き店舗、空き地が増えている	497	25.3%
自然災害に対して十分な整備がされていない	174	8.9%
生活に必要なサービス施設が十分とはいえない	310	15.8%
他地域を結ぶ公共交通の利便性が不十分	181	9.2%
道路などの整備が十分とはいえない	212	10.8%
公園などの整備が十分とはいえない	140	7.1%
開発等により緑などの自然が減ってきている	60	3.1%
歴史・文化的資源の保全が十分とはいえない	133	6.8%
地域交流の場が十分とはいえない	112	5.7%
観光による日常生活や環境等への影響	85	4.3%
その他	46	2.3%
無回答	13	0.7%
合計	1,963	100.0%



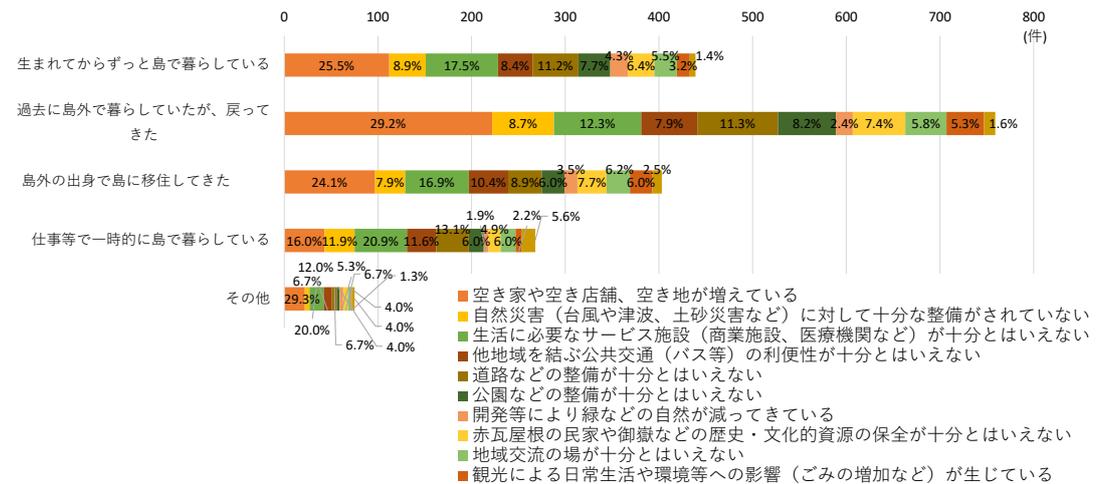
#### 【集計結果】

・課題と考えている事項として、「空き家や空き店舗、空き地の増加」(25.3%)が最も多く、次いで「生活サービス施設が不十分」(15.8%)、「道路整備が不十分」(10.8%)という結果でした。逆に「開発等による自然の減」は低く、3.1%でした。

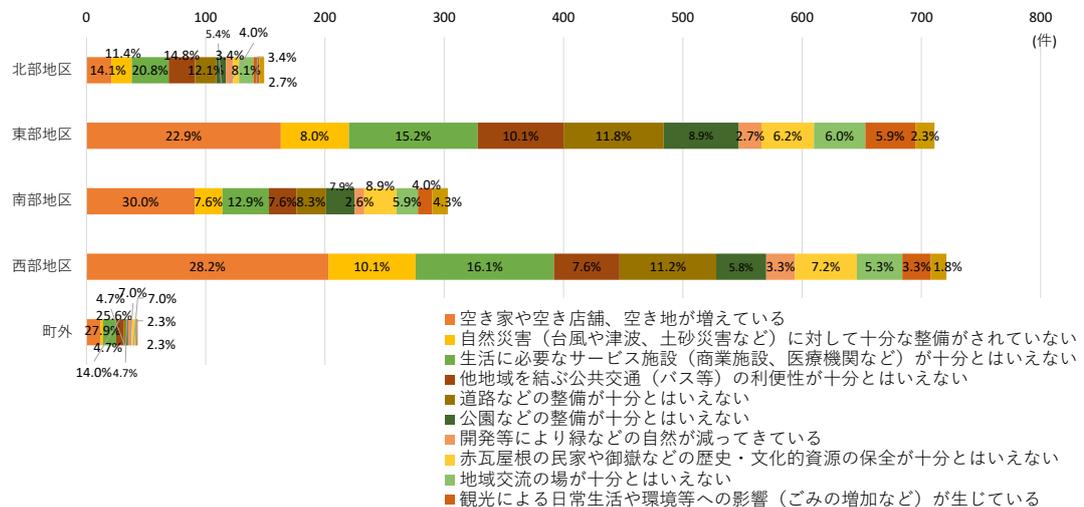
## ■年齢別に見た土地利用上の課題



## ■居住経緯別に見た土地利用上の課題



## ■地域別に見た土地利用上の課題

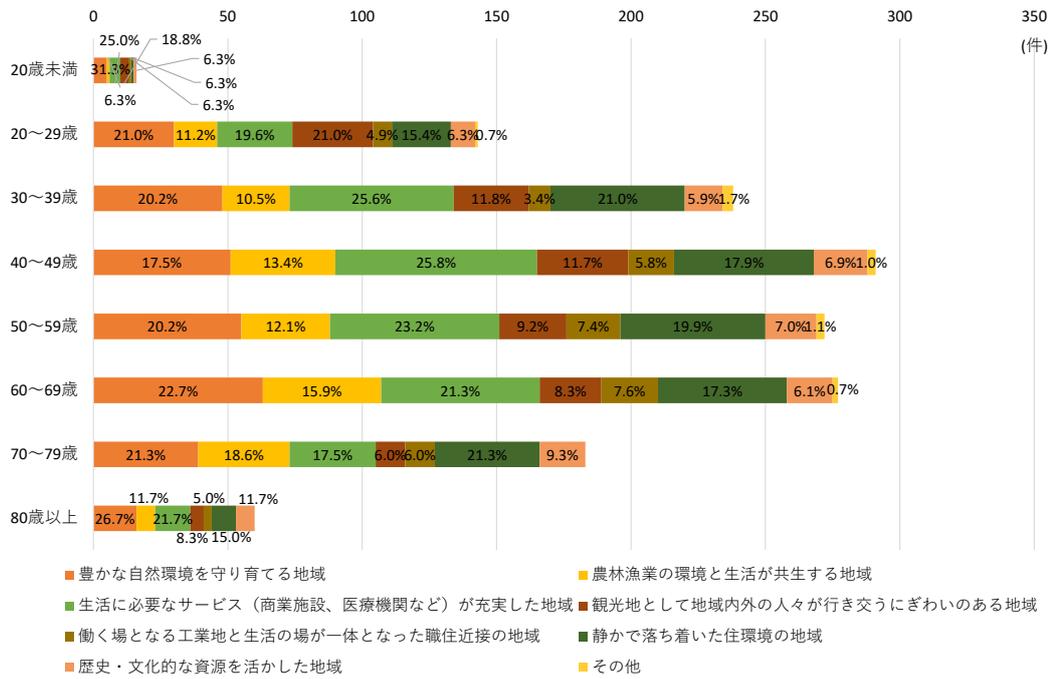


#### 【集計結果】

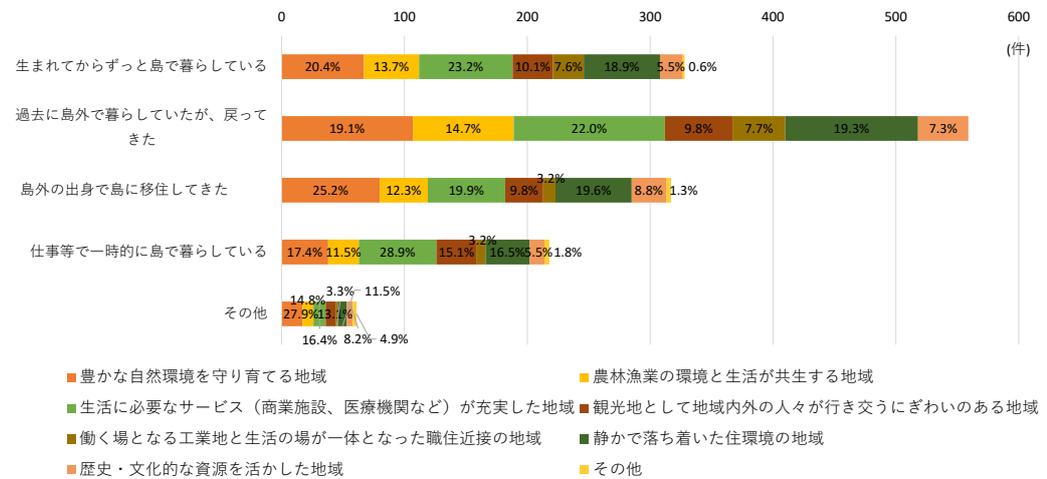
- ・年齢別で見ると、ほぼ全世代に渡り「空き家や空き店舗、空き地の増加」、「生活サービス施設が不十分」が多い回答傾向にありました。
- ・居住経緯別で見ると、過去に島外で暮らしていたUターン者の方からの回答の中で「空き家や空き店舗、空き地の増加」が29.2%と最も高く、過去に居住していた時期との比較傾向が現れたものと窺えます。
- ・地域別で見ると、「空き家や空き店舗、空き地の増加」に関しては西部地区居住の方からの回答が28.2%と最も高い結果でした。
- ・また、「地域交流の場が十分とはいえない」、「観光による日常生活や環境等への影響が生じている」という回答は、東部地区居住の方からの回答が高い傾向にありました。



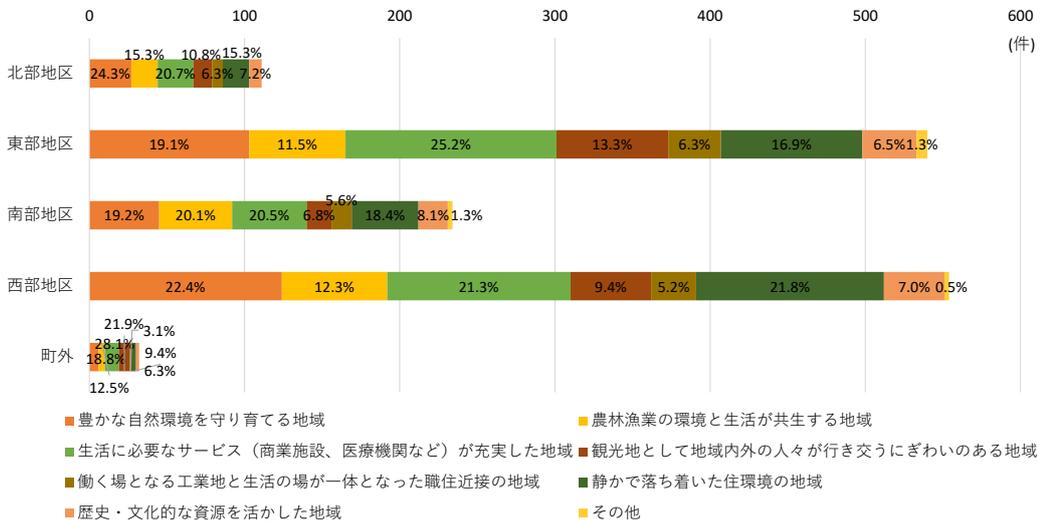
## ■年齢別に見た将来に期待する地域の特徴



## ■居住経緯別に見た将来に期待する地域の特徴



## ■地域別に見た将来に期待する地域の特徴



#### 【集計結果】

- ・年齢別で見ると、30歳代から50歳代にかけて「生活に必要なサービスが充実した地域」が最も高い回答でしたが、60歳代以上から「豊かな自然環境を守り育てる地域」が最も高く、傾向が変わっています。また、20歳代は「観光地としてにぎわいのある地域」と「豊かな自然環境を守り育てる地域」が21.0%と最も高くかつ同率でした。
- ・居住経緯別で見ると、島外からの移住者の方のみが「豊かな自然環境を守り育てる地域」という回答が最も高く、それ以外は「生活に必要なサービスが充実した地域」という回答が最も高い結果でした。
- ・地域別で見ると、どの地域においても「生活に必要なサービスが充実した地域」と、「豊かな自然環境を守り育てる地域」が高い回答傾向でした。

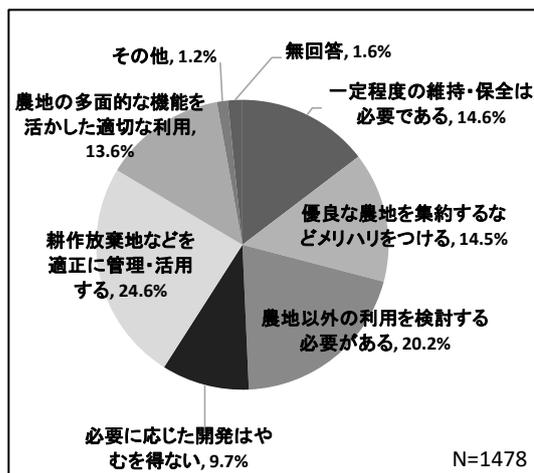
#### ④ 久米島町全体の土地利用

問8 「農地」のあり方について、どのようにお考えですか。(2つまで選んで番号に○)

- ① 一定程度の維持・保全は必要である
- ② 優良な農地を集約するなど、守るべき農地とそれ以外の農地のメリハリをつける必要がある
- ③ 土地によっては、農地以外の利用を検討する必要がある
- ④ 地域の発展のためなら必要に応じた開発はやむを得ない
- ⑤ 耕作放棄地などを適正に管理・活用する必要がある
- ⑥ 教育の場への活用やグリーンツーリズムなど、農地の多面的な機能を活かした適切な利用が望まれる
- ⑦ その他 ( )

#### ■単純集計

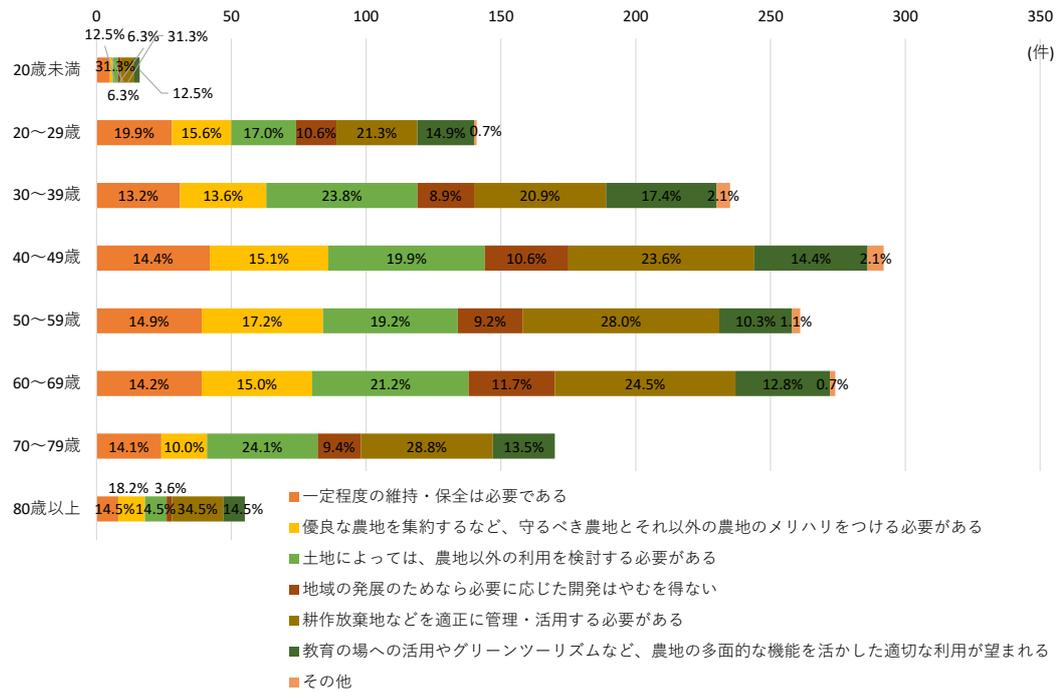
	回答数	構成比
一定程度の維持・保全は必要である	216	14.6%
優良な農地を集約するなどメリハリをつける	214	14.5%
農地以外の利用を検討する必要がある	299	20.2%
必要に応じた開発はやむを得ない	144	9.7%
耕作放棄地などを適正に管理・活用する	363	24.6%
農地の多面的な機能を活かした適切な利用	200	13.6%
その他	18	1.2%
無回答	24	1.6%
合計	1,478	100.0%



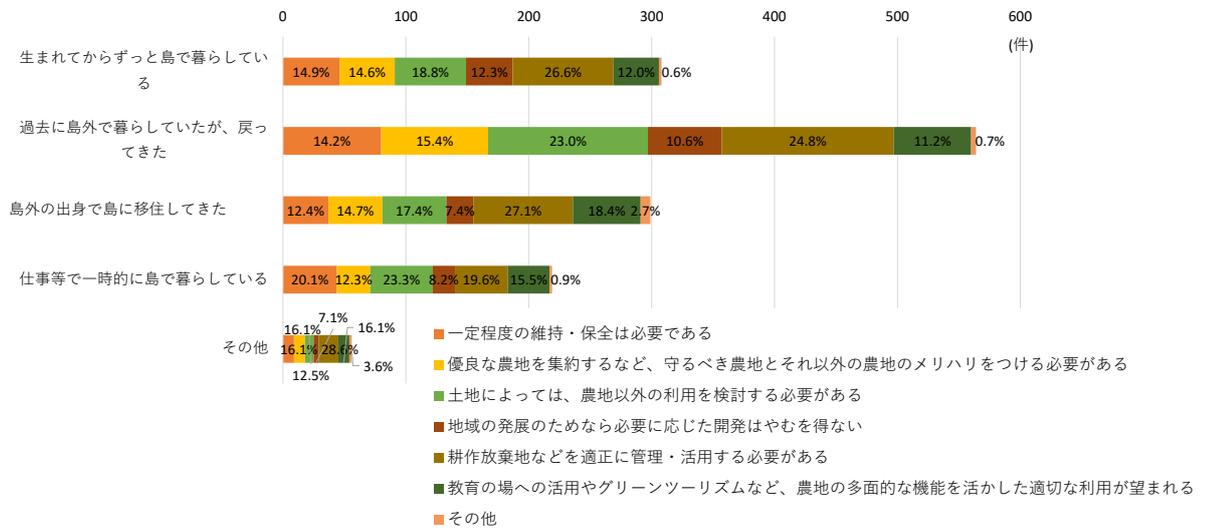
#### 【集計結果】

・「耕作放棄地などの適正な管理・活用」(24.6%)が最も高く、次いで「農地以外の利用」(20.2%)、「一定規模の維持・保全は必要」(14.6%)という回答結果でした。

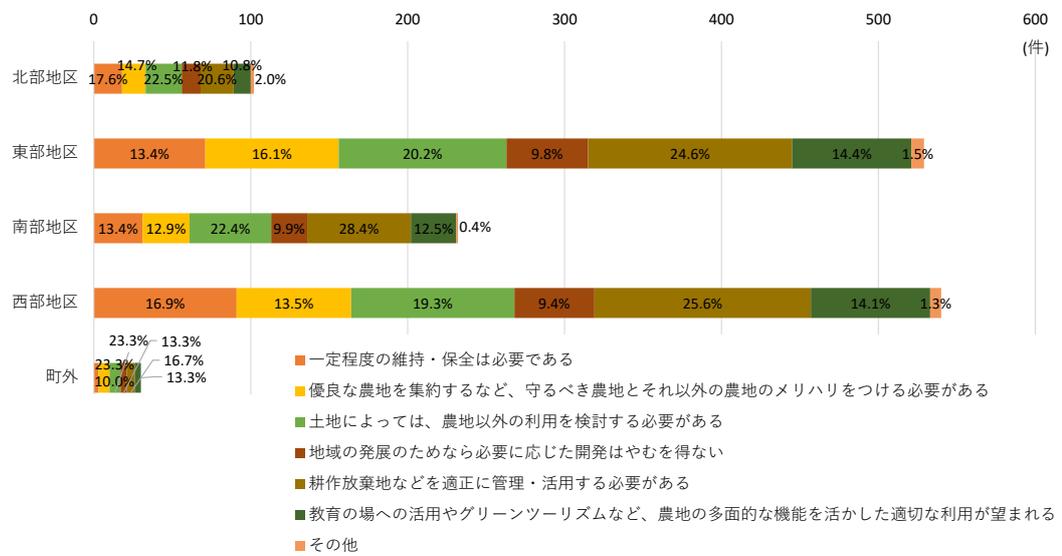
## ■年齢別に見た農地のあり方に対する考え



## ■居住経緯別で見た農地のあり方に対する考え



## ■地域別に見た農地のあり方に対する考え



### 【集計結果】

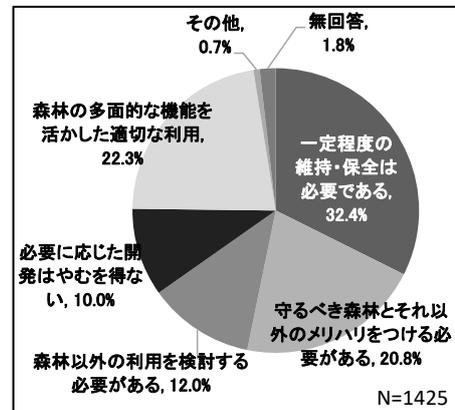
- ・年齢別で見ると、全世代において「耕作放棄地などの適正な管理・活用」、「農地以外の利用」の回答割合が高い傾向にありました。地域別も同様の傾向でした。
- ・居住経緯別で見ても同様の傾向ですが、移住者の方からの回答のみ「農地の多面的な機能を活かした適切な利用が望まれる」の回答比率が他属性よりも高い結果でした。

問9 「森林」のあり方について、どのようにお考えですか。(2つまで選んで番号に○)

- ① 一定程度の維持・保全は必要である
- ② 原生林などの守るべき森林とそれ以外の森林のメリハリをつける必要がある
- ③ 土地によっては、森林以外の利用を検討する必要がある
- ④ 地域の発展のためなら必要に応じた開発はやむを得ない
- ⑤ 教育の場への活用やエコツーリズム等、森林の多面的な機能を活かした適切な利用が望まれる
- ⑥ その他 ( )

■単純集計

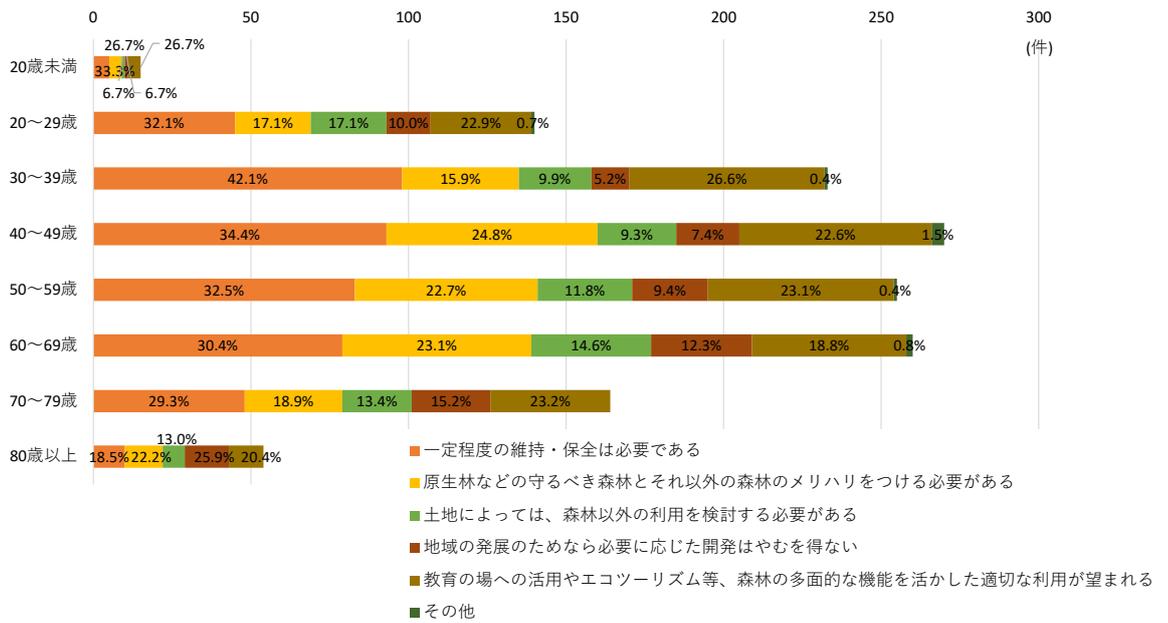
	回答数	構成比
一定程度の維持・保全は必要である	462	32.4%
守るべき森林とそれ以外のメリハリをつける必要がある	296	20.8%
森林以外の利用を検討する必要がある	171	12.0%
必要に応じた開発はやむを得ない	143	10.0%
森林の多面的な機能を活かした適切な利用	317	22.3%
その他	10	0.7%
無回答	26	1.8%
合計	1,425	100.0%



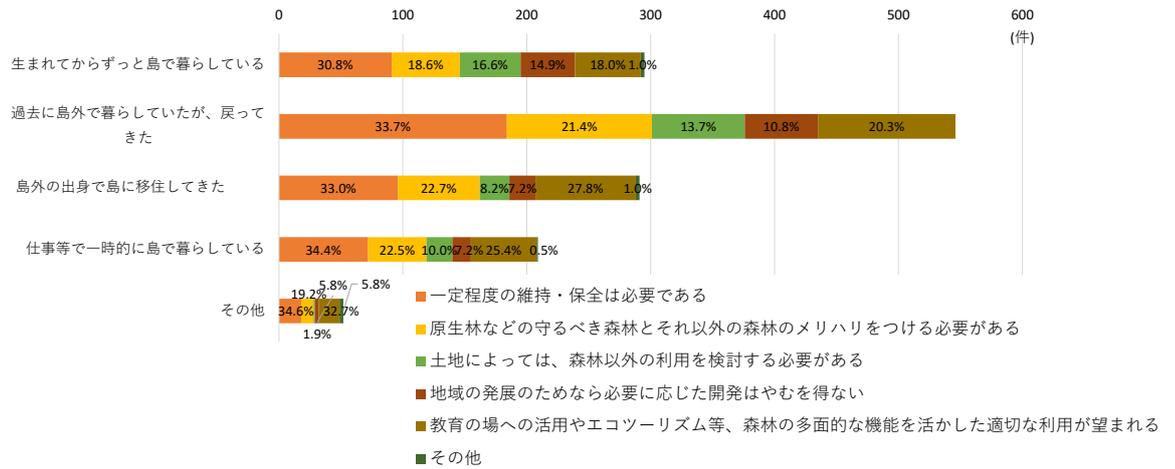
【集計結果】

- ・「一定規模の維持・保全は必要」(32.4%)が最も高く、「多面的な機能を活かした適切な利用」(22.3%)、「守るべき森林とそれ以外のメリハリをつける」(20.8%)の順でした。
- ・「必要に応じた開発はやむを得ない」は、10.0%と低い結果でした。

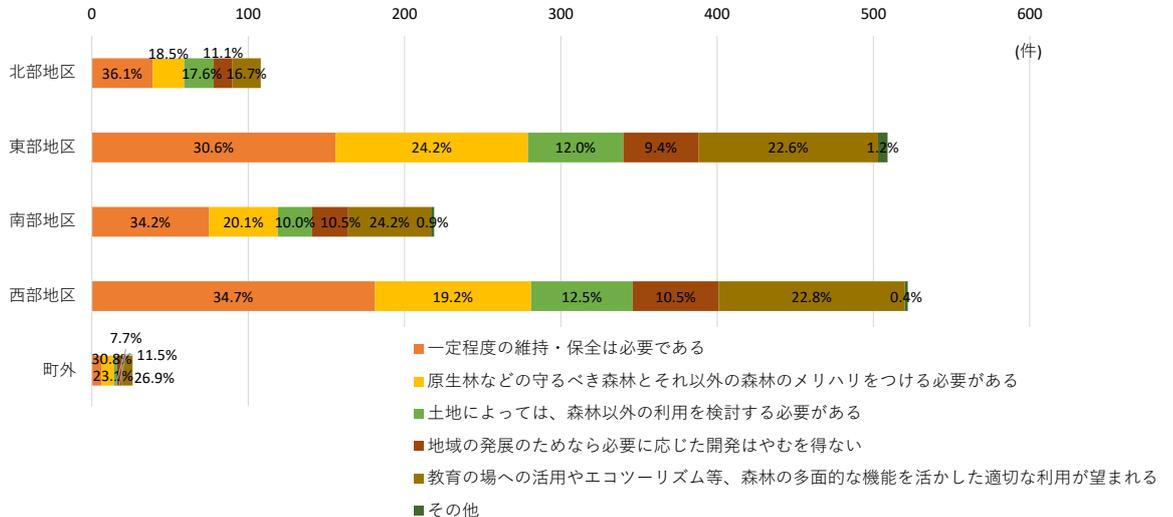
## ■年齢別に見た森林のあり方に対する考え



## ■居住経緯別に見た森林のあり方に対する考え



## ■地域別に見た森林のあり方に対する考え



#### 【集計結果】

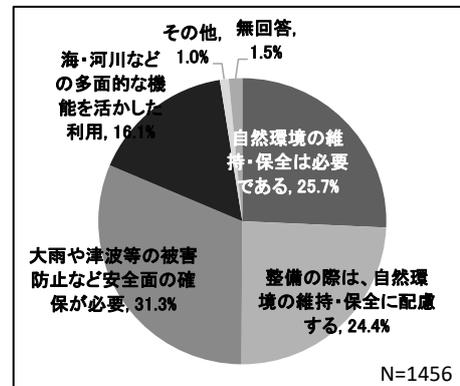
- ・年齢別で見ると、80歳以上を除く全ての世代において「一定規模の維持・保全は必要」が最も高い回答の傾向にありました。80歳以上のみが、「地域の発展のためなら必要に応じた開発はやむを得ない」が最も高い回答割合にありました。
- ・居住経緯別で見ても同様の傾向ですが、移住者からの回答に関しては前述の農地のあり方と同様、「森林の多面的な機能を活かした適切な利用が望まれる」の回答比率が他属性よりも高い結果でした。
- ・地域別で見てもほぼ同様に「一定規模の維持・保全は必要」が最も高い傾向ですが、町外のみ「守るべき森林とそれ以外のメリハリをつける」が30.8%と最も高い結果でした。

問10 「水面・河川・水路」について、どのようにお考えですか。(2つまで選んで番号に○)

- ① 一定程度の自然環境の維持・保全は必要である
- ② 水供給などの必要な整備を行う際には、自然環境の維持・保全に配慮して行う
- ③ 大雨や津波等の被害防止など、安全面の確保は必要である
- ④ 教育への活用や、魅力ある水辺空間づくり等、海・河川などの多面的な機能を活かした利用が望まれる
- ⑤ その他 ( )

■単純集計

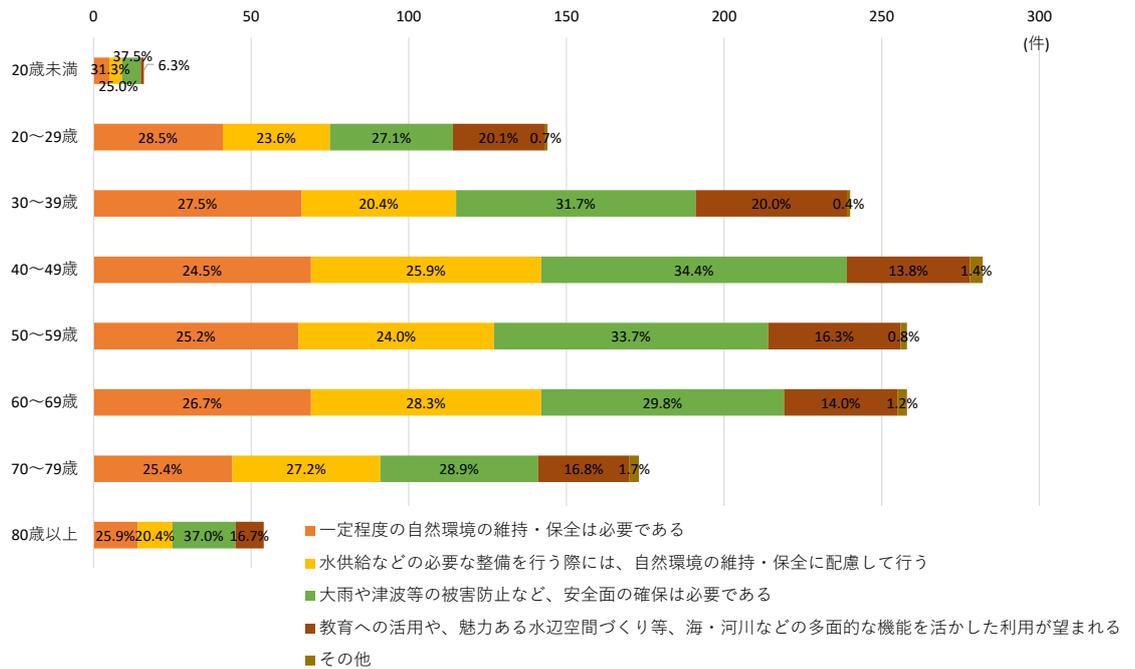
	回答数	構成比
自然環境の維持・保全は必要である	374	25.7%
整備の際は、自然環境の維持・保全に配慮する	356	24.4%
大雨や津波等の被害防止など安全面の確保が必要	456	31.3%
海・河川などの多面的な機能を活かした利用	234	16.1%
その他	14	1.0%
無回答	22	1.5%
合計	1,456	100.0%



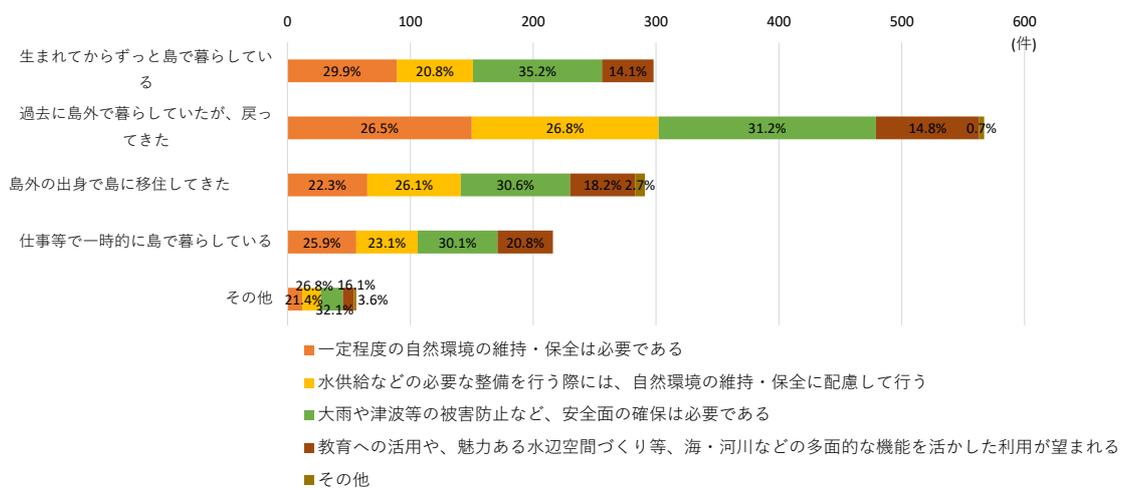
【集計結果】

・「大雨や津波等の被害防止など安全面の確保が必要」(31.3%) が最も高く、次いで「自然環境の維持・保全は必要」(25.7%)、「整備の際は自然環境の維持・保全に配慮」(24.4%) の順でした。

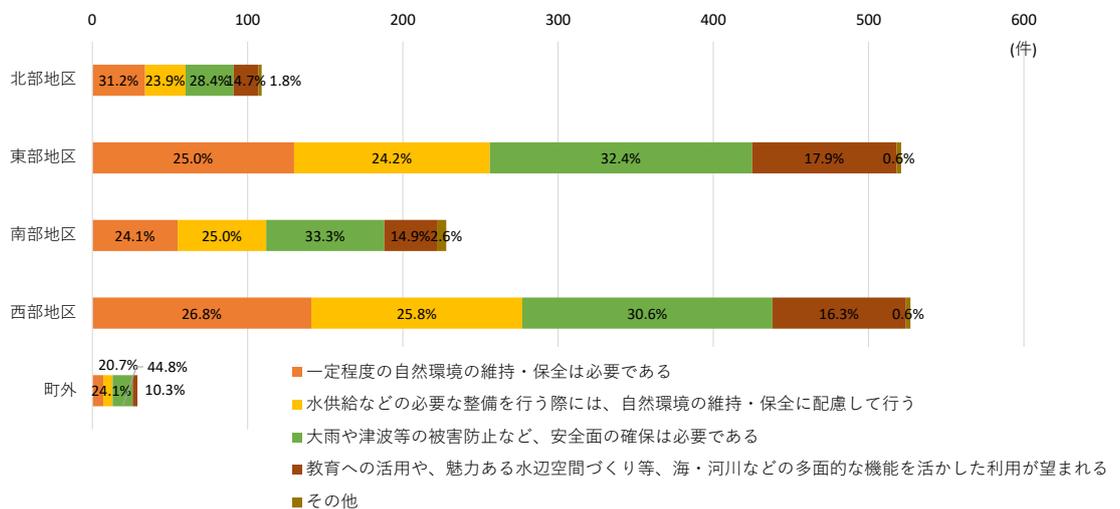
## ■年齢別に見た水面・河川・水路のあり方に対する考え



## ■居住経緯別で見た水面・河川・水路のあり方に対する考え



## ■地域別に見た水面・河川・水路のあり方に対する考え

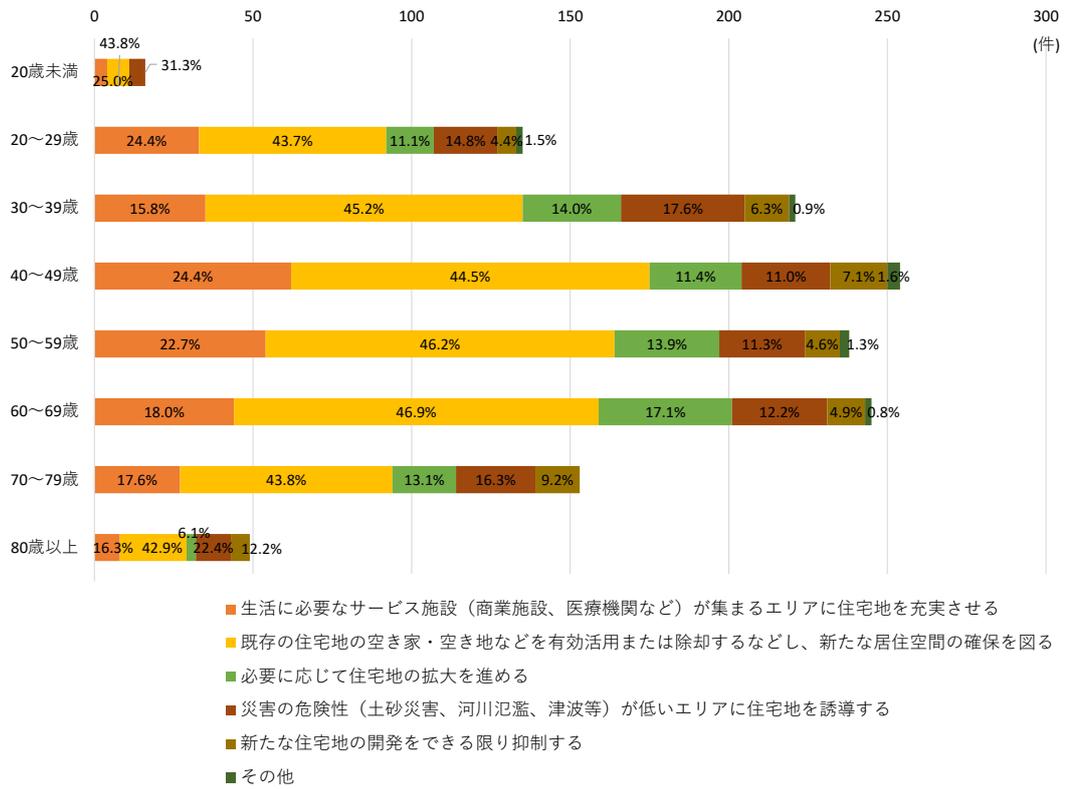


**【集計結果】**

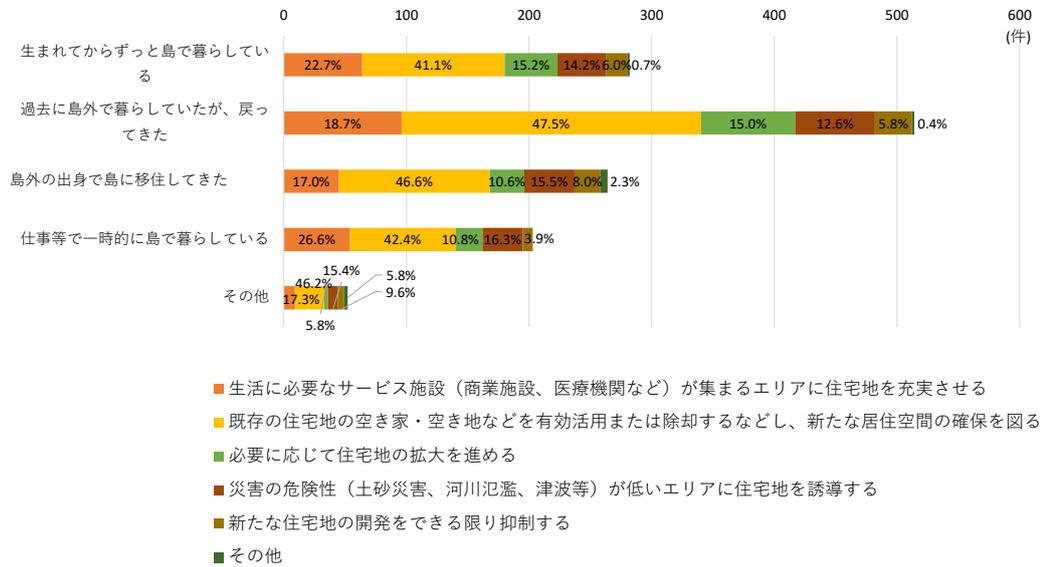
- ・年齢別で見ると、ほぼ全ての世代において「大雨や津波等の被害防止など安全面の確保が必要」が最も高く、次いで「一定規模の自然環境の維持・保全は必要」と「整備の際は自然環境の維持・保全に配慮する」が同程度の割合でした。居住経緯別、地域別でも同様の傾向でした。



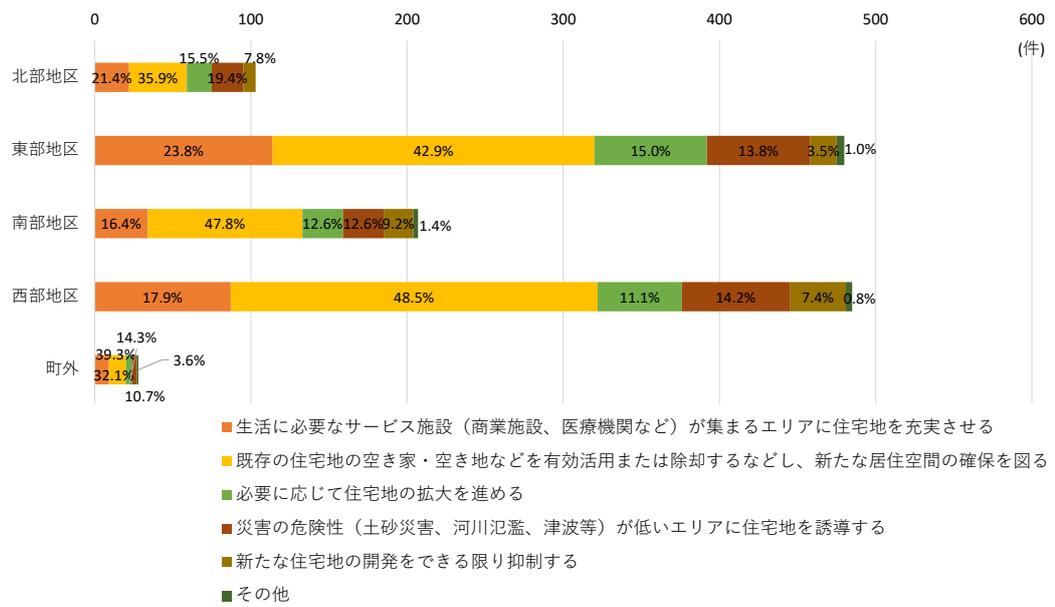
## ■年齢別に見た住宅地のあり方に対する考え



## ■居住経緯別で見た住宅地のあり方に対する考え



## ■地域別に見た住宅地のあり方に対する考え



### 【集計結果】

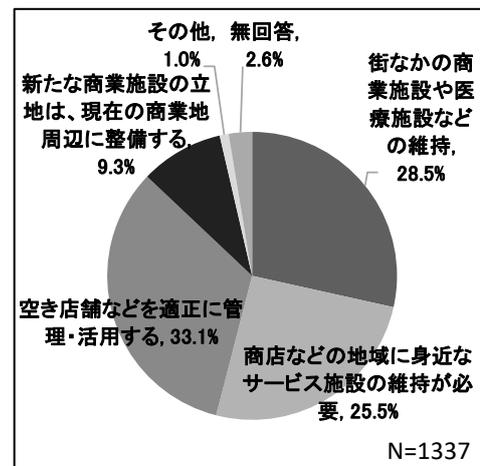
- ・年齢別、居住経緯別、地域別全てにおいて、全世代で「新たな居住空間の確保を図る」が最も高い結果でした。
- ・居住経緯別、地域別で見ると、次に高かったのが「サービス施設が集まるエリアに住宅地を充実させる」でした。
- ・移住者の方及び仕事等で一時的に住まわれている方は「必要に応じて住宅地の拡大を進める」の回答割合が低い傾向にありました。

問 12 「商業地」について、どのようにお考えですか。(2つまで選んで番号に○)

- ① 街なかの商業施設や医療施設などの維持が必要である
- ② 集落の中心では、商店などの地域に身近なサービス施設の維持が必要である
- ③ 空き店舗などを適正に管理・活用する必要がある
- ④ 新たに商業施設が立地する場合は、現在の商業地周辺に整備を進める
- ⑤ その他 ( )

■単純集計

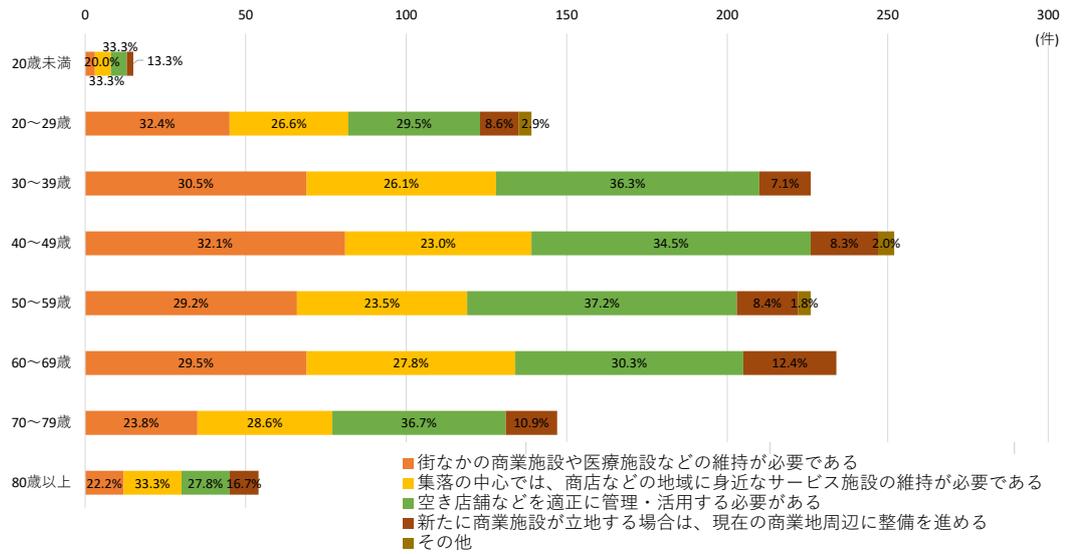
	回答数	構成比
街なかの商業施設や医療施設などの維持	381	28.5%
商店などの地域に身近なサービス施設の維持が必要	341	25.5%
空き店舗などを適正に管理・活用する	442	33.1%
新たな商業施設の立地は、現在の商業地周辺に整備する	125	9.3%
その他	13	1.0%
無回答	35	2.6%
合計	1,337	100.0%



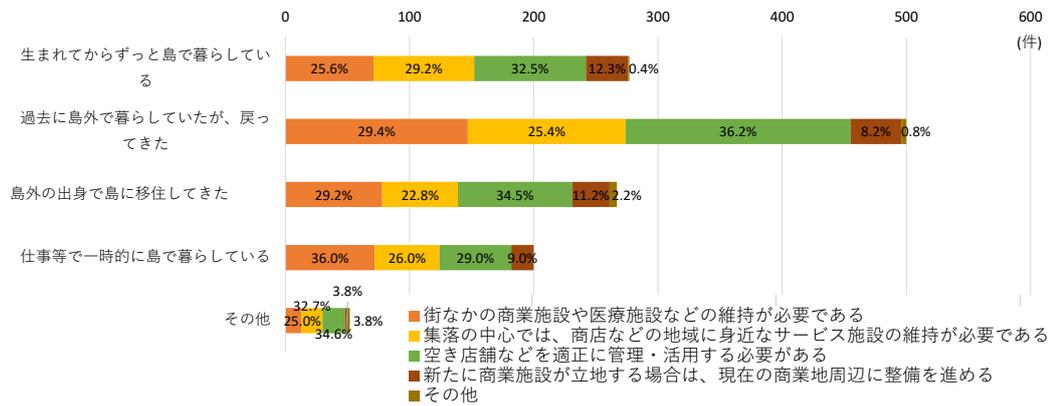
【集計結果】

- ・「空き店舗などを適正に管理・活用する」(33.1%)が最も高く、次いで「街なかの商業施設や医療施設などの維持」(28.5%)、「商店などの地域に身近なサービス施設の維持が必要」(25.5%)の順でした。

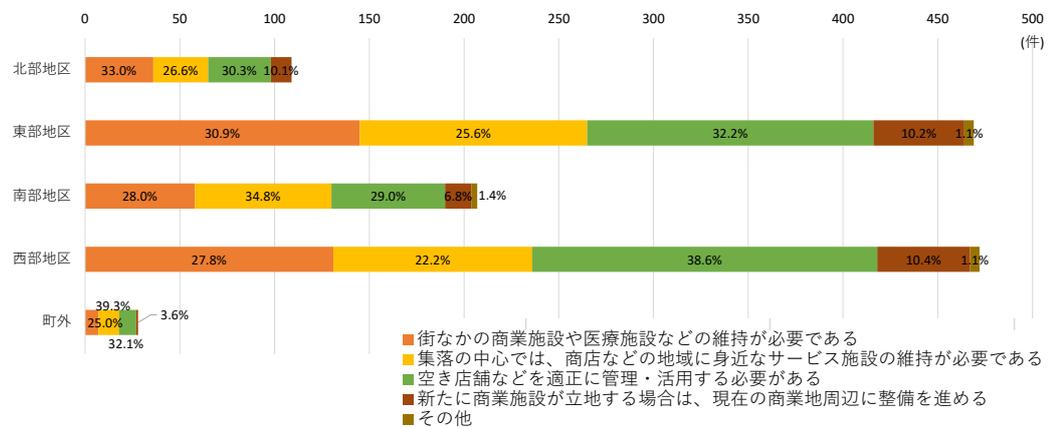
### ■年齢別に見た商業地のあり方に対する考え



### ■居住経緯別に見た商業地のあり方に対する考え



### ■地域別に見た商業地のあり方に対する考え



**【集計結果】**

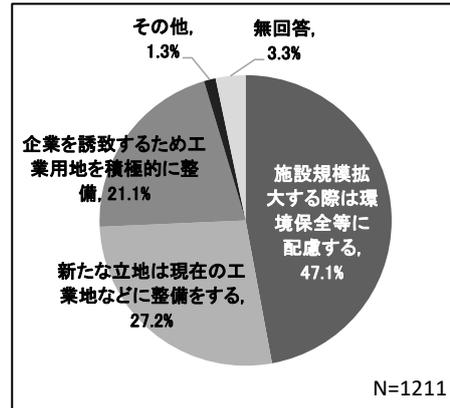
- ・年齢別で見ると、20歳代と80歳以上を除く全世代において「空き店舗などを適正に管理・活用する」が最も高い結果でした。2番目に高かったのは、30歳代から60歳代にかけては「商業施設や医療施設などの維持」であり、60歳代以上から「地域に身近なサービス施設の維持」が高くなる傾向にありました。
- ・居住経緯別で見ると、「仕事等で一時的に島で暮らしている」属性の方が「商業施設や医療施設の維持」が最も高く、それ以外は全て「空き店舗などを適正に管理」が最も高い結果でした。
- ・地域別で見た場合、北部地区は「商業施設や医療施設などの維持」が最も高く、南部地区は「地域に身近なサービス施設の維持」、東部地区、西部地区は「空き店舗などを適正に管理・活用する」が最も高い結果でした。

問 13 「工業地」について、どのようにお考えですか。(2つまで選んで番号に○)

- ① 施設の規模拡大等が必要な場合は、環境保全等に配慮して整備を進める
- ② 新たに立地する場合は、現在の工業地周辺や工場跡地などに整備を進める
- ③ 企業を誘致するため工業用地を積極的に整備する
- ④ その他 ( )

■単純集計

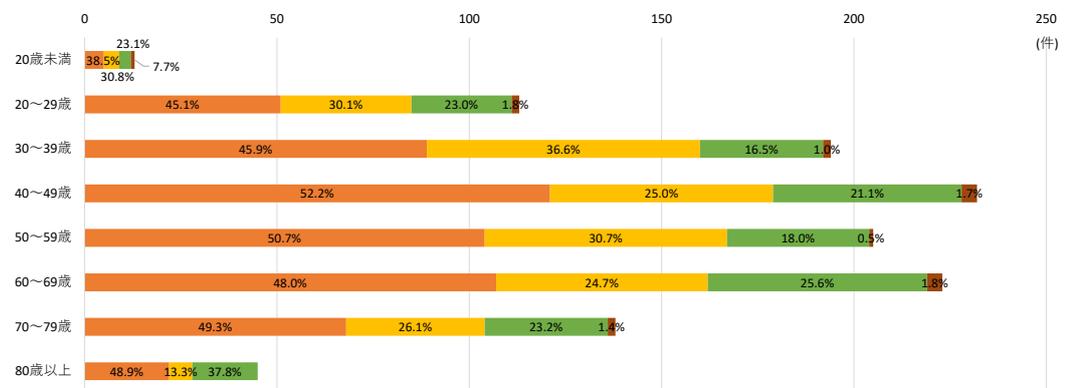
	回答数	構成比
施設規模拡大する際は環境保全等に配慮する	571	47.1%
新たな立地は現在の工業地などに整備をする	329	27.2%
企業を誘致するため工業用地を積極的に整備	255	21.1%
その他	16	1.3%
無回答	40	3.3%
合計	1,211	100.0%



【集計結果】

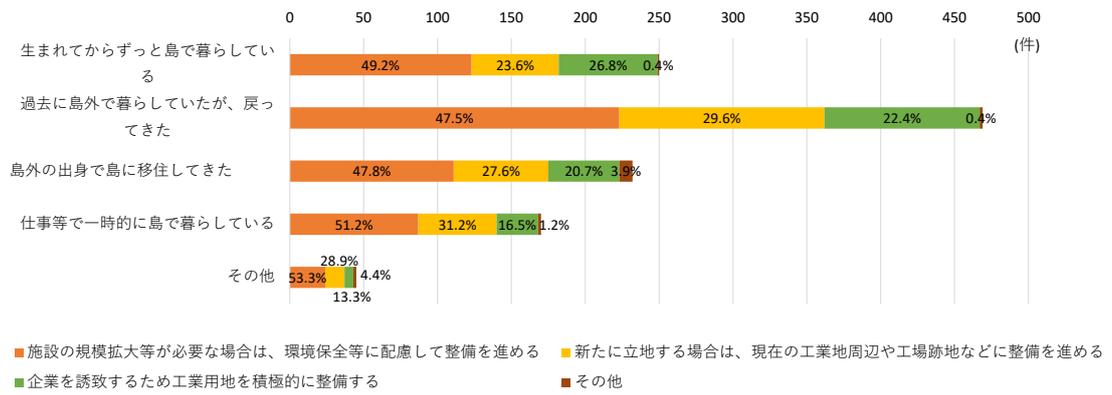
・「規模拡大する際は環境保全等に配慮する」(47.1%)が最も高く、次いで「新たな立地は現在の工業地などに整備をする」(27.2%)であり、「企業誘致のために工業用地を積極的に整備する」は最も低く21.1%でした。

■年齢別に見た工業地のあり方に対する考え

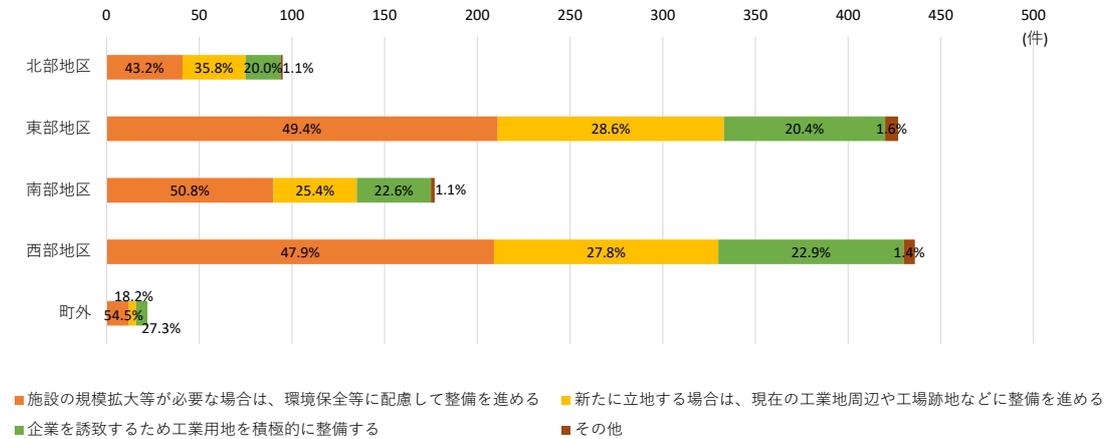


■施設の規模拡大等が必要な場合は、環境保全等に配慮して整備を進める ■新たに立地する場合は、現在の工業地周辺や工場跡地などに整備を進める  
 ■企業を誘致するため工業用地を積極的に整備する ■その他

## ■居住経緯別で見た工業地のあり方に対する考え



## ■地域別に見た工業地のあり方に対する考え



### 【集計結果】

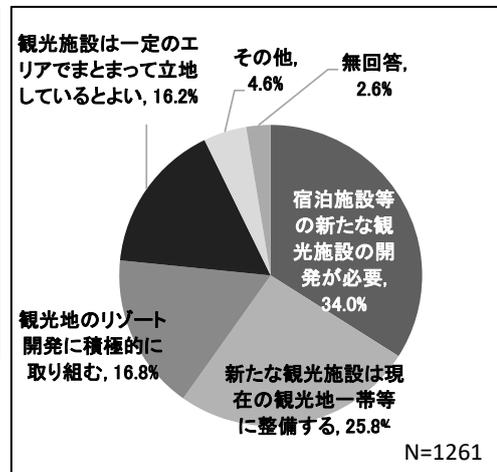
- ・年齢別、居住経緯別、地域別どの場合においても、「規模拡大する際は環境保全等に配慮する」が最も高い回答結果でした。
- ・年齢別で見ると、50歳代までは「新たな立地は現在の工業地などに整備をする」という回答割合が「企業誘致のために工業用地を積極的に整備する」よりも多いですが、60歳代以上から「企業誘致のために工業用地を積極的に整備する」への回答割合が高くなっています。
- ・居住経緯別で見ると「生まれてからずっと島で暮らしている」方は、他の属性の方と比較して「企業誘致のために工業用地を積極的に整備する」への回答割合が高い傾向にありました。
- ・地域別で見ると、北部地区の方は「規模拡大する際は環境保全等に配慮する」への回答割合が、僅かではあるが他地域と比べて低い傾向にありました。

問 14 「観光地」について、どのようにお考えですか。(2つまで選んで番号に○)

- ① 観光動向に応じ、周辺環境との調和を図りながら、宿泊施設等の新たな観光施設の開発は必要である
- ② 新たに観光施設が立地する場合は、現在の観光地一帯や観光施設跡地等に整備を進める
- ③ 観光客を増やすため、観光地のリゾート開発に積極的に取り組む
- ④ 観光施設は一定のエリアでまとまって立地しているとよい
- ⑤ その他 ( )

■単純集計

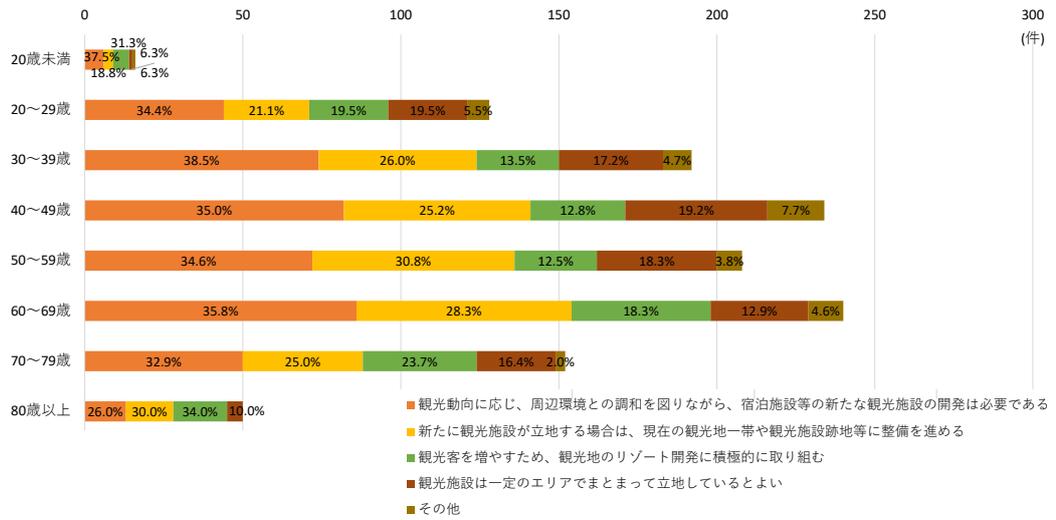
	回答数	構成比
宿泊施設等の新たな観光施設の開発が必要	429	34.0%
新たな観光施設は現在の観光地一帯等に整備する	325	25.8%
観光地のリゾート開発に積極的に取り組む	212	16.8%
観光施設は一定のエリアでまとまって立地しているとよい	204	16.2%
その他	58	4.6%
無回答	33	2.6%
合計	1,261	100.0%



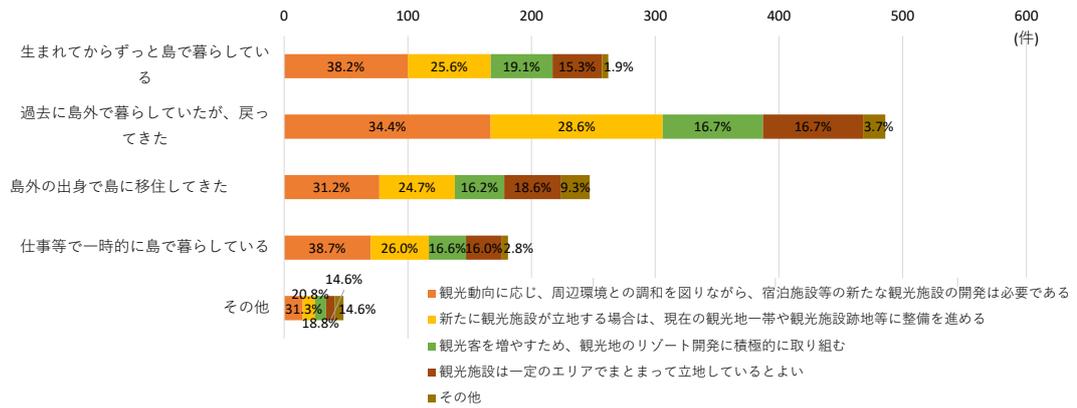
【集計結果】

- ・「宿泊施設等の新たな観光施設の開発が必要」(34.0%)が最も高く、「観光地のリゾート開発に積極的に取り組む」は16.8%と低い結果でした。
- ・また、「新たな観光施設は現在の観光地一帯等に整備する」は25.8%と2番目に高い結果でした。

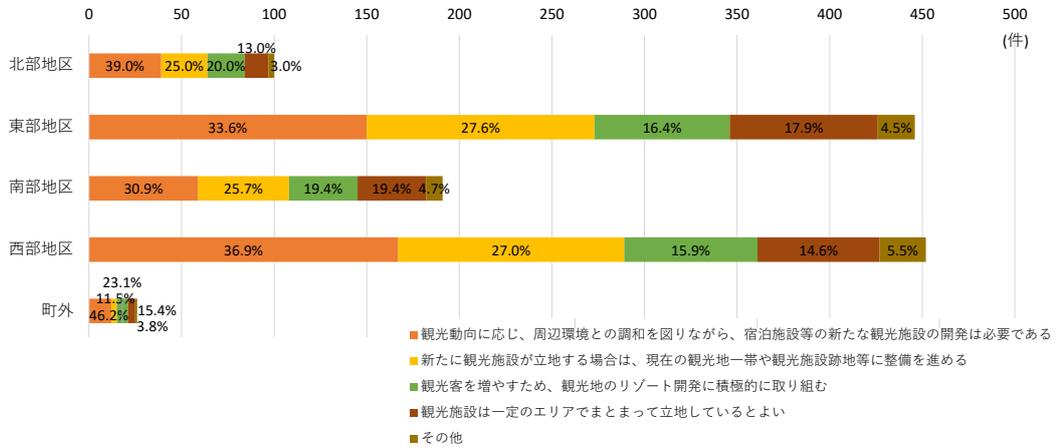
## ■年齢別に見た観光地のあり方に対する考え



## ■居住経緯別に見た観光地のあり方に対する考え



## ■地域別に見た観光地のあり方に対する考え

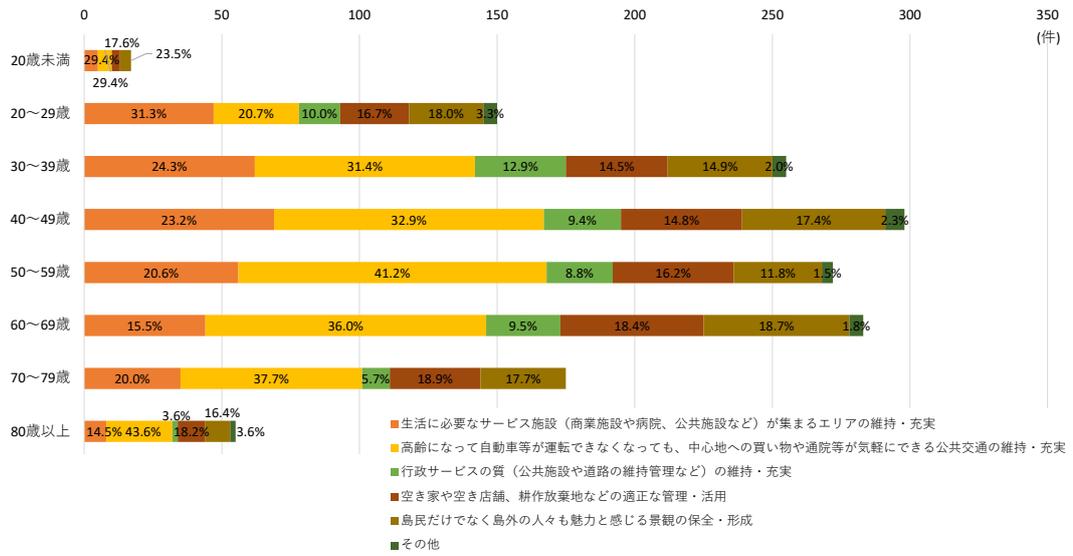


**【集計結果】**

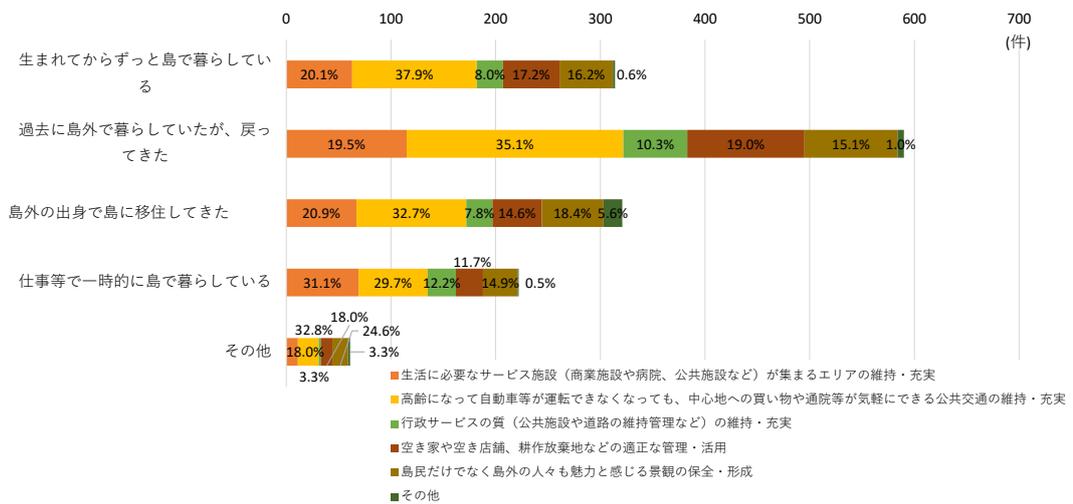
- ・年齢別、居住形態別、地域別どの場合においても、「宿泊施設等の新たな観光施設の開発が必要」が最も高い結果でした。
- ・年齢別で見ると、30～50歳代の方は「観光地のリゾート開発に積極的に取り組む」回答割合が他の世代と比べて比較的少ない結果でした。
- ・居住形態別で見ても、単純集計と同一の傾向にありました。
- ・地域別で見ると、南部地区のみ「宿泊施設等の新たな観光施設の開発が必要」の回答割合が他地域と比較して低い傾向にありました。



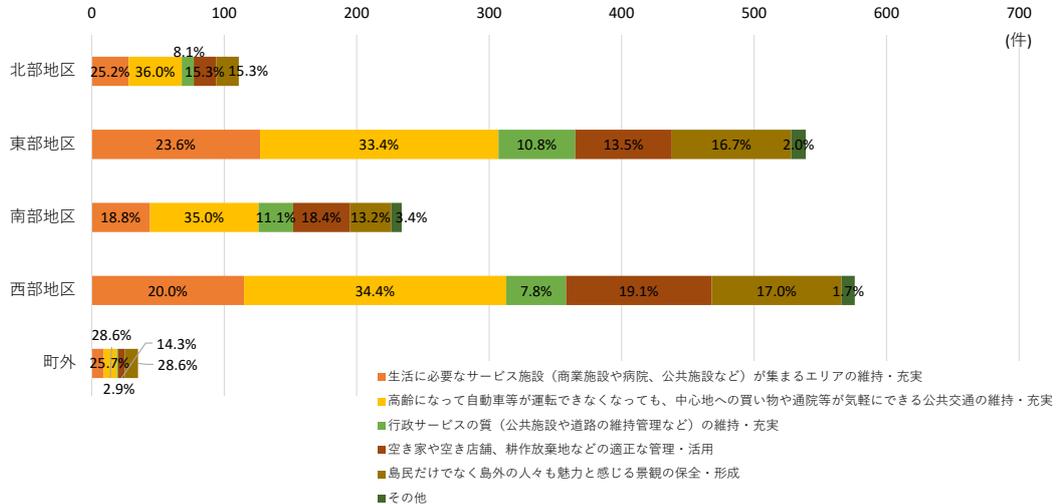
## ■年齢別に見た今後必要な島づくりの考え



## ■居住経緯別に見た今後必要な島づくりの考え



## ■地域別に見た今後必要な島づくりの考え



#### 【集計結果】

- ・年齢別で見ると、「空き屋や空き店舗、耕作放棄地などの適正な管理・活用」を回答する割合が、60歳代以上において高い傾向にありました。
- ・居住経緯別で見ると、「仕事等で一時的に島で暮らしている方」のみ「サービス施設が集まるエリアの維持・充実」の回答割合が最も高い結果でした。
- ・また、「生まれてからずっと島で暮らしている」方と「島に戻ってきた」方においては、「空き家や空き店舗、耕作放棄地などの適正な管理・活用」に対する回答割合が他属性の方よりも高い結果でした。
- ・「移住してきた」方と「一時的に島で暮らしている」方は、「空き家などの適正な管理・活用」よりも「景観保全・形成」に対する回答割合が高い結果でした。
- ・地域別で見ると、どの地域においても「高齢でも買い物や通院等ができる公共交通」が最も高く、次に「サービス施設が集まるエリアの維持・充実」の回答割合が高い結果でした。
- ・南部地区と西部地区においては、僅かですが「空き家などの適正な管理・運用」の回答割合が他地域よりも高い傾向にありました。